

大雨に注意しましょう！

○ 河川が増水した場合に気をつけて欲しい親水施設



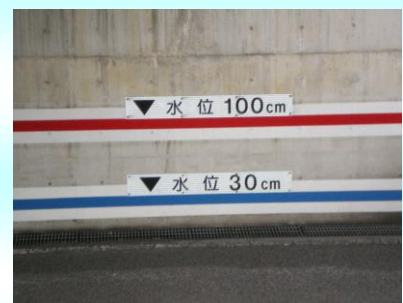
[石手川親水護岸]



[放流情報表示装置]

場 所	松山市石手一丁目～松山市出合までの間の親水施設
増水時の対応	降雨により、急激に石手川ダムの水位の上昇が予測される場合、下流の洪水被害防止のため、ダムに洪水を貯留するとともに、ダムゲートから放流されます。ダムの水が放流される際、国土交通省松山河川国道事務所石手川ダム管理支所により“警報所からのサイレン・スピーカーによる警報”“警報車からのスピーカーによる警報”“放流情報表示装置による警報”が行われますが、警報が行われた場合は、川原から避難して下さい。

○ 大雨の際に浸水の危険が生じる道路



場 所	松山市南江戸一丁目
路線名	千舟町高岡線
冠水時の対応	豪雨時、道路管理者である市職員及び、県警所管区員が現地確認を行います。また、道路冠水時は、オレンジ色の情報板に「冠水のため通行止め」と表示されるとともに、市職員がバリケードを設置することとなっていますので豪雨時は、情報板に注意して下さい。

○ 土砂災害から身を守るために

◇ 「土石流」

山や谷（溪流）の土、石、木などが大雨や長雨等による水と一体となって、すごい勢いで流れてくるものを言います。

◇ 「がけ崩れ」

急傾斜地（傾斜の角度 30 度以上で、高さが 5 m 以上のもの）において、大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、緩んだ“がけ”がとつぜん崩れ落ちるものです。

◇ 「地すべり」

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたり、ゆっくりと動き出すものを言います。



[土砂災害の前兆現象(サイン)]

土石流のサイン	がけ崩れのサイン	地すべりのサイン
① 川の流れが濁り、流木が混じり始める。	① がけから小石がパラパラ落ちてくる。	① 地下水や湧水の急激な変化(地盤の内部に新たな水の通り道ができる。または大量の地下水が流れたことで、隙間が広がったために見られる現象)。
② 雨は降り続けているのに、川の水位が下がる。雨が小降りになっているのに、川の水位が低下しない(上流で崩壊が発生し、流れがせき止められている可能性がある)。	② 斜面に亀裂やはらみが見られる。 斜面から異様な音・地鳴りが聞こえる。	② 地割れができる(農地や道路・家屋の周辺などに、亀裂が生じる)。
③ 山鳴りがする(木立の裂ける音が聞こえたり、巨礫の流れが聞こえたりする時も注意)。	③ がけから水が湧き出ている(がけから流れてくる水が濁る場合も注意)。	③ 斜面から水が噴き出す(樹木が傾いたり、倒れたりする)。

○ 災害危険箇所や避難施設などを把握しておきましょう

愛媛県や松山市のホームページには、土砂災害危険箇所、市内の避難施設や災害危険箇所等が掲載されていますので、是非一度確認しておいてください。

◇ 愛媛県ホームページ

<http://www.pref.ehime.jp/>

◇ 松山市ホームページ

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>